

質 疑

19年度一般会計予算

Q 消防救急無線デジタル化への町の負担額は。

A 平成19年から23年まで基金を積み立て事業費を賄う。負担額は約年間1千万円で5ヶ年間ということである。

Q 定率減税廃止による影響額は。

A 平成18年度、減税額が半減され、19年度で廃止になる定率減税の影響額は2千600万円と見積っている。

Q 新年度予算で削られた同和予算の総額はいくらか。

A 2月19日、土屋前町長に対して解放同盟自ら返上するとの申し出があった7項目に関連する予算については計上しておらず、その総額は1千186万5千円である。

Q 南小の5年生、現在3クラスであるが転出児童があり国基準の80人になるが、町は、県が実施している少人数学級を実施していくのか。

A 平成18年度3月議会定例会において西棟増築工事の理由説明で、今後生徒数が増え、増加傾向にあること、町独自で30人規模学級を行っていく考えであることなどを申し上げた。現在もこの考え方は変っていない。

19年度公共下水道特別予算

Q 公共下水道事業の負担金1億8千289万7千円は、どこでこの事業所か。

A 負担金で事業所の一番大きいのはミネバアで、今年大きく入る。あとは16年から19年に分割して納めていた、だいたいの方々の合計である。

19年度住宅新築資金予算

Q 住宅新築資金の延滞金は、1千円と予算書にあるが町の考えは。

A 住宅新築資金については、滞納の増加が大きな問題は、滞納の増加が大きな問題となっているので科している。

18年度一般会計補正予算

Q 同和对策総務費の下水道補助金の増額理由は。19年度廃止になるが、実施された件数は。

A この事業は補正予算作成時点で2件の申請があり、1件分の追加である。平成12年度に始まり、12年度9件、412万6千円。13年度終了する見込みである。

度が15件、699万4千円。14年度が4件、109万8千円。15年度が3件、150万円。16年度で1件、50万円。17年度1件、30万1千円で計33件、1千532万9千円の支出である。今回の2件の申請を加え、最終的には35件で終了する見込みである。



通信システム